

◇第 69 回講演会（友愛労働歴史館・労使関係研究協会共催）が開催されました

## テーマ「友愛会・総同盟と新渡戸稲造」

☆芳賀清明氏を招き、講演会「友愛会・総同盟と新渡戸稲造」を開催、10月15日！



友愛労働歴史館は新渡戸稲造没後 80 年に当たる 10 月 15 日（火）午後、講演会「友愛会・総同盟と新渡戸稲造」を開催しました。講師は労働運動史研究者の芳賀清明氏（仙台在住）で、講演会には友愛労働歴史館および労使関係研究協会の個人会員・団体会員など 38 名が参加しました。

新渡戸稲造（1862.9.1～1933.10.15）は、教育者・農学者として、また国際連盟事務局次長、さらには『武士道』の著者として広く知られていますが、友愛会や労働運動との関係は余り知られてい

ませんでした。

芳賀清明氏は、レジュメ「1. 新渡戸稲造の生涯、2. 教育者としての新渡戸稲造、3. 新渡戸稲造と友愛会の労働者教育、4. 新渡戸稲造と日本労働会館建設運動、5. 友愛会＝総同盟運動を支援した人々と新渡戸稲造」に基づき、新渡戸の生涯や友愛会・総同盟との関連について約 100 分に亘る講演を行いました。

また、芳賀氏は持参した関連資料「新渡戸稲造関連年譜」、「友愛会＝総同盟機関紙・誌に見る新渡戸稲造」、論文「強き人」（友愛会機関誌『労働及産業』・大正 5 年 4 月号）、記事「我等が牙城日本労働会館」（総同盟機関誌『労働』・昭和 6 年 10 月号）に言及しつつ、講演を進めました。その後、質疑を行い閉会しました。



今回の講演会「新渡戸稲造」は、開催中の企画展「吉野作造」（2013.03.18～2013.10.31）の一部を模様替えし、新たに「新渡戸稲造コーナー」を設置したことに連動させた企画。講演会参加者の多くが、講演終了後、友愛労働歴史館展示室に立ち寄り、写真や解説パネル、著書や集団肖像画などで構成された「新渡戸稲造コーナー」を見学しました。（詳しい内容については録画しています。労使研までお申し込みください。）